

浦添市長 殿

申請者 住所  
氏名 印  
(法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)

専用水道布設工事設計の確認申請について

水道法第32条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて〇〇専用水道布設工事（新設・増設・改造）設計の確認を申請します。

※注

記

1 申請者の住所及び氏名、電話番号

法人または組合にあつては、次のとおり記載すること。

ア 主たる事務所の所在地

(市町村、字、番地まで住所を確実に記載すること。)

イ 名称（法人または組合の名称）

ウ 代表者氏名（職名も記載すること。)

エ 電話番号

2 水道事務所の所在地及び電話番号

ア 所在地（市町村、字、番地まで住所を確実に記載すること。)

イ 電話番号

ウ 水道事務所の名称（名称があれば、記載すること。)

3 工事設計書

別添

4 関係図面

別添

※注) 確認申請の目的が施設の新設か、増設か、改造かによって、文言を書き換えること。

## ○ 工事設計書

### 1 水の供給を受ける者の数

予定または計画上の給水人口を記載すること。  
また、利用者数と居住者数、その施設の従業員数と利用客数等、人口の内訳を詳細に記載すること。

### 2 水の供給が行われる地域

給水しようとする地域（給水区域）の地名を詳細に記載すること。

### 3 一日最大給水量及び一日平均給水量

計画上の一日最大給水量及び平均給水量を記載すること。  
また、飲料水とその他の水とは区別すること。

### 4 水源の種別及び取水地点

水源の種別は、表流水（河川水）、伏流水、湖沼水、浅井戸、深井戸、湧水、浄水受水等の種別を記載すること。  
取水地点は、地番、地先名等を記載し、地下水にあっては採取位置（採水層の深さ）も記載すること。

### 5 水源の水量の概算及び水質試験の結果

水源の水量の概算とは、取水の確実な水源の水量を説明するものであり、河川水、湖沼水、ダム水、伏流水等の流水占用の許可（河川法第23条）に係るものにあつては、当該許可水量または許可見込水量を、それ以外の場合にあつては、流量測定、揚水試験等の結果から得られた取水可能な最大量と計画取水量との関係を明らかにすること。

また、当該水源について他の用途と共有する場合には、参考のため、他の用途の水量を記載すること。

水質試験の結果は、新たに設ける水源及び既設水源について、水質基準に関する省令に掲げる項目に関して水質が最も低下する時期における原水水質試験の結果とすること。

また、同水質検査は、水質基準に関する省令に掲げる方法によって行うこと。

### 6 水道施設の概要

取水、貯水、導水、浄水、送水、配水の各施設について、容量、能力、種別等、施設の概要を簡潔に記載すること。

水系別に施設がある場合には、水系別に記載すること。

7 水道施設の位置（標高及び水位を含む。）、規模及び構造

取水、貯水、導水、浄水、送水、配水の各施設について、その設置場所、標高、水位（変動する場合にあっては最高水位及び最低水位）、規模（容量、寸法）及び構造（形状、材質、型式等）を、簡明に記載すること。

なお、水位系統図を添付することによって標高等を省略してもよい。

8 浄水方法

浄水処理の方法を具体的に記述すること。

9 工事の着手及び完了の予定年月日

着工予定           年    月    日

完了予定           年    月    日

10 主要な水理計算書

取水施設から配水幹線の末端に至る次の工種に関する水理計算（規模、容量、型式決定の根拠及び損失水量の計算）を記載すること。

取水堰、取水門、取水塔、取水管きょ、ダム、原水調整池、凝集池、沈でん池、濾過池、高度浄水施設、配水池、配水塔、ポンプ設備、管きょ（導水、送水、配水幹線及び主要施設の連絡管きょを含む。）

なお、配水管の管径決定の際の配水区画ごとの人口、水量をあらわす図及び表を添付すること。

11 主要な構造計算書

主要構造物の主要部材の応力計算及び断面算定を記載すること。ここでいう主要構造物とは、ダム及び取水堰（水道専用の場合のみ）、取水門、取水塔、原水調整池、凝集池、沈でん池、濾過池、高度浄水施設、浄水池等主要な浄水施設、配水池、配水塔及び高架タンクをいう。

12 主要な水道施設の施工方法の概要

特殊な施工方法（送水管の海底布設工法、隧道掘進工法、ダム築造工法、河川・軌道横断等における特殊施工方法）を採用する場合にのみ、その概要を記載すること。

13 その他参考となる事項

(1) 他の水道との関係

他の水道事業、専用水道との関係（分水、その他）を記載すること。

(2) 水利権に関する書類

河川占用許可書、水利権同意書、分水承諾書等取水の確実性を証する書面を添付すること。

(3) 水道使用料徴収の有無

何等かの形式で水道使用料に該当するものを徴収しているときは、次の事項を記載すること。  
ア 徴収の根拠とする各種の規約、契約等の内容（写しを添付すること。）  
イ 使用料算出の根拠

(4) 消火栓設置の有無

浦添市長 殿

届出者 住所  
氏名 印  
(法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)

専用水道布設工事確認申請書の記載事項変更届について

令和 年 月 日付け浦配水第 号にて確認を受けた〇〇専用水道について、下記のとおり申請書の記載事項に変更を生じたので、水道法第33条第3項の規定により、届け出ます。

記

- 1 専用水道の設置者の氏名または名称
- 2 変更年月日
- 3 変更内容

変更した項目	変更前の記載内容	変更後の記載事項
(例)		
1 申請者の住所及び氏名		
2 水道事務所の所在地		

- 4 添付書類

(様式第1号で定める関係図面のうち変更のあったもの、その他必要と認めるもの。)

令和 年 月 日

浦添市長 殿

届出者 住所  
氏名 印  
（法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）

専用水道の廃止（休止）届について

※注

令和 年 月 日付け浦配水第 号にて確認を受けた〇〇専用水道について、下記のとおり廃止（休止）したので届け出ます。

※注

記

1 廃止（休止）年月日

※注

2 廃止（休止）の理由

※注

※注）届出の目的が、施設の廃止か、休止かによって、文言を書き換えること。

浦添市長 殿

届出者 住所  
氏名 印  
(法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)

新規専用水道の届出について

本施設は、水道法第3条第6項の規定により新たに専用水道となるため、〇〇専用水道の施設概要について、下記のとおり届け出ます。

記

1 申請者の住所及び氏名、電話番号

法人または組合にあつては、次のとおり記載すること。

ア 主たる事務所の所在地  
(市町村、字、番地まで住所を確実に記載すること。)

イ 名称（法人または組合の名称）

ウ 代表者氏名（職名も記載すること。)

エ 電話番号

2 水道事務所の所在地及び電話番号

ア 所在地（市町村、字、番地まで住所を確実に記載すること。)

イ 電話番号

ウ 水道事務所の名称（名称があれば、記載すること。)

3 工事設計書

別添

4 関係図面

別添

※注）確認申請の目的が施設の新設か、増設か、改造かによって、文言を書き換えること。

## ○ 工事設計書

### 1 水の供給を受ける者の数

〔 予定または計画上の給水人口を記載すること。  
また、利用者数と居住者数、その施設の従業員数と利用客数等、人口の内訳を詳細に記載すること。 〕

### 2 水の供給が行われる地域

〔 給水しようとする地域（給水区域）の地名を詳細に記載すること。 〕

### 3 一日最大給水量及び一日平均給水量

〔 計画上の一日最大給水量及び平均給水量を記載すること。  
また、飲料水とその他の水とは区別すること。 〕

### 4 水源の種別及び取水地点

〔 水源の種別は、表流水（河川水）、伏流水、湖沼水、浅井戸、深井戸、湧水、浄水受水等の種別を記載すること。  
取水地点は、地番、地先名等を記載し、地下水にあっては採取位置（採水層の深さ）も記載すること。 〕

### 5 水源の水量の概算及び水質試験の結果

〔 水源の水量の概算とは、取水の確実な水源の水量を説明するものであり、河川水、湖沼水、ダム水、伏流水等の流水占用の許可（河川法第23条）に係るものにあつては、当該許可水量または許可見込水量を、それ以外の場合にあつては、流量測定、揚水試験等の結果から得られた取水可能な最大量と計画取水量との関係を明らかにすること。  
また、当該水源について他の用途と共有する場合には、参考のため、他の用途の水量を記載すること。  
水質試験の結果は、新たに設ける水源及び既設水源について、水質基準に関する省令に掲げる項目に関して水質が最も低下する時期における原水水質試験の結果とすること。  
また、同水質検査は、水質基準に関する省令に掲げる方法によって行うこと。 〕

### 6 水道施設の概要

〔 取水、貯水、導水、浄水、送水、配水の各施設について、容量、能力、種別等、施設の概要を簡潔に記載すること。  
水系別に施設がある場合には、水系別に記載すること。 〕

7 水道施設の位置（標高及び水位を含む。）、規模及び構造

取水、貯水、導水、浄水、送水、配水の各施設について、その設置場所、標高、水位（変動する場合にあっては最高水位及び最低水位）、規模（容量、寸法）及び構造（形状、材質、型式等）を、簡明に記載すること。

なお、水位系統図を添付することによって標高等を省略してもよい。

8 浄水方法

〔 浄水処理の方法を具体的に記述すること。 〕

9 工事の着手及び完了の予定年月日

着工予定           年    月    日

完了予定           年    月    日

10 主要な水理計算書

取水施設から配水幹線の末端に至る次の工種に関する水理計算（規模、容量、型式決定の根拠及び損失水量の計算）を記載すること。

取水堰、取水門、取水塔、取水管きよ、ダム、原水調整池、凝集池、沈でん池、  
濾過池、高度浄水施設、配水池、配水塔、ポンプ設備、  
管きよ（導水、送水、配水幹線及び主要施設の連絡管きよを含む。）

なお、配水管の管径決定の際の配水区画ごとの人口、水量をあらわす図及び表を添付すること。

11 主要な構造計算書

主要構造物の主要部材の応力計算及び断面算定を記載すること。ここでいう主要構造物とは、ダム及び取水堰(水道専用の場合のみ)、取水門、取水塔、原水調整池、凝集池、沈でん池、濾過池、高度浄水施設、浄水池等主要な浄水施設、配水池、配水塔及び高架タンクをいう。

12 主要な水道施設の施工方法の概要

特殊な施工方法(送水管の海底布設工法、隧道掘進工法、ダム築造工法、河川・軌道横断等における特殊施工方法)を採用する場合にのみ、その概要を記載すること。

### 13 その他参考となる事項

(1) 他の水道との関係

〔 他の水道事業、専用水道との関係（分水、その他）を記載すること。 〕

(2) 水利権に関する書類

〔 河川占用許可書、水利権同意書、分水承諾書等取水の确实性を証する書面を添付すること。 〕

(3) 水道使用料徴収の有無

〔 何等かの形式で水道使用料に該当するものを徴収しているときは、次の事項を記載すること。  
ア 徴収の根拠とする各種の規約、契約等の内容（写しを添付すること。）  
イ 使用料算出の根拠 〕

(4) 消火栓設置の有無

令和 年 月 日

〇〇保健所長 殿  
(当該専用水道を所管する保健所長)

届出者 住所  
氏名 印  
(法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)

専用水道給水開始前届について

令和 年 月 日付け浦配水第 号にて確認を受けた〇〇専用水道について、給水を開始しますので、水道法第34条第1項において準用する第13条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 工事竣工年月日
- 2 給水開始予定年月日
- 3 添付書類  
水質及び施設検査証明書(様式第5-2号)

(様式第5-2号)

## 水質及び施設検査証明書

令和 年 月 日付け浦配水第 号にて確認を受けた〇〇専用水道について、水道法第34条第1項において準用する第13条第1項の規定により、下記のとおり水質及び施設検査を行った結果、異常が認められなかったことを証明します。

### 記

#### 1 水質検査

(1) 検査年月日

(2) 水質検査に関する記録

別添（水道法施行規則第54条において準用する第10条の規定に基づく検査の結果が分かるものであること。）

#### 2 施設検査

(1) 検査年月日

(2) 施設検査に関する記録

別添（水道法施行規則第54条において準用する第11条の規定に基づく検査の結果が分かるものであること。）

令和 年 月 日

〇〇専用水道

水道技術管理者 〇〇 〇〇

印

〇〇保健所長 殿  
（当該専用水道を所管する保健所長）

届出者 住所  
氏名 印  
（法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）

水道技術管理者設置（変更）の届出について

※注

令和 年 月 日付け浦配水第 号にて確認を受けた〇〇専用水道について、水道技術管理者を設置（変更）したので、水道法第34条第1項において準用する第24条の3の規定により下記のとおり届け出ます。

※注

記

- 1 設置者の氏名または名称
- 2 水道技術管理者の概要
  - （1）住所及び氏名
  - （2）最終学歴（学部、学科、課程、専攻等まで具体的に記載すること。）
  - （3）水道に関する技術上の実務経験年数
  - （4）水道法施行規則第54条において準用する第14条第1項第3号の規定に基づく講習の受講の有無（受講しているなら、その修了年月日）
- 3 添付書類
  - （1）水道技術管理者の履歴書（様式第6-2号）
  - （2）水道法施行規則第54条において準用する第14条第1項第3号の規定に基づく講習の修了証書の写し

※注）届出の目的が、新たな設置か、変更かによって、文言を書き換えること。

(様式第6-2号)

				平成	年	月	日現在	
<b>履 歴 書</b>				ふりがな				男・女
				氏名				印
				生年月日				
				年	月	日	(満 歳)	
ふりがな (〒 - )				水道に関する技術上の実務 経験年数				
現住所  (電話 - - )				年 月				
年号	年	月	学 歴					
年号	年	月	職 歴					

(注意事項)

- ア 職歴はできるだけ詳しく、特に水道の実務に関する職歴は具体的に記載すること。
- イ 学歴は最終学歴のみでもよい。ただし、学部、学科、課程または専攻等まで具体的に記載すること。
- ウ 水道法施行規則第14条第1項第3号に基づく講習を受けている場合は、その修了年月日を記載すること。
- エ 全ての欄を漏れなく記載すること。

〇〇保健所長 殿  
（当該専用水道を所管する保健所長）

届出者 住所  
氏名 印  
（法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）

業務委託の届出について

令和 年 月 日付け浦配水第 号にて確認を受けた〇〇専用水道について、水道法第34条第1項において準用する第24条の3第1項の規定により業務を委託したので、同条第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 専用水道の設置者の氏名または名称
- 2 水道管理業務受託者の住所及び氏名（法人または組合にあつては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）
- 3 受託水道業務技術管理者の概要
  - （1）住所及び氏名
  - （2）最終学歴（学部、学科、課程、専攻等まで具体的に記載すること。）
  - （3）水道に関する技術上の実務経験年数
  - （4）水道法施行規則第54条において準用する第19条第1項第3号の規定に基づく講習の受講の有無（受講しているなら、その修了年月日）
- 4 委託した業務の範囲
- 5 契約期間
- 6 添付書類
  - （1）委託契約書の写し
  - （2）受託水道業務技術管理者の履歴書（様式第6-2号）
  - （3）水道法施行規則第54条において準用する第14条第1項第3号の規定に基づく講習を受託水道業務技術管理者が受けている場合、その修了証書の写し

〇〇保健所長 殿  
(当該専用水道を所管する保健所長)

届出者 住所  
氏名 印  
(法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)

業務委託契約内容変更の届出について

令和 年 月 日付け浦配水第 号にて確認を受けた〇〇専用水道について、令和 年 月 日付けで届け出ていた業務委託契約の内容を変更したので、水道法第34条第1項において準用する第24条の3の規定により下記のとおり届け出ます。

記

- 1 専用水道の設置者の氏名または名称
- 2 水道管理業務受託者の氏名または名称
- 3 契約変更年月日

4 変更内容

変更した項目	変更前の記載内容	変更後の記載事項
(例)		
1 委託業務内容		
(1) .....		
(2) .....		

5 添付書類

(様式第7号で定める添付書類のうち変更のあったもの、その他必要と認めるもの。)

〇〇保健所長 殿  
（当該専用水道を所管する保健所長）

届出者 住所  
氏名 印  
（法人または組合にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）

業務委託契約失効の届出について

令和 年 月 日付け浦配水第 号にて確認を受けた〇〇専用水道について、令和 年 月 日付けで届け出ていた業務委託契約が効力を失ったので、水道法第34条第1項において準用する第24条の3第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 専用水道の設置者の氏名または名称
- 2 水道管理業務受託者の住所及び氏名（法人または組合にあつては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）
- 3 受託水道業務技術管理者の住所及び氏名
- 4 委託した業務の範囲
- 5 契約期間
- 6 当該業務委託契約が効力を失った理由

様式第10号（第4（1）関係）

浦水配第 号  
令和 年 月 日

（専用水道設置者） 殿

浦添市長 印

専用水道の布設工事設計の確認について（通知）

水道法第32条の規定により令和 年 月 日付けで申請のありました専用水道の布設工事の設計は、同法第5条の規定に基づく施設基準に適合することを確認しましたので、同法第33条第5項の規定により通知します。

